スカイオーシャン・世界債券戦略ファンド　四半期レポート

（2018年 1～3月）

基準価額および分配金の状況

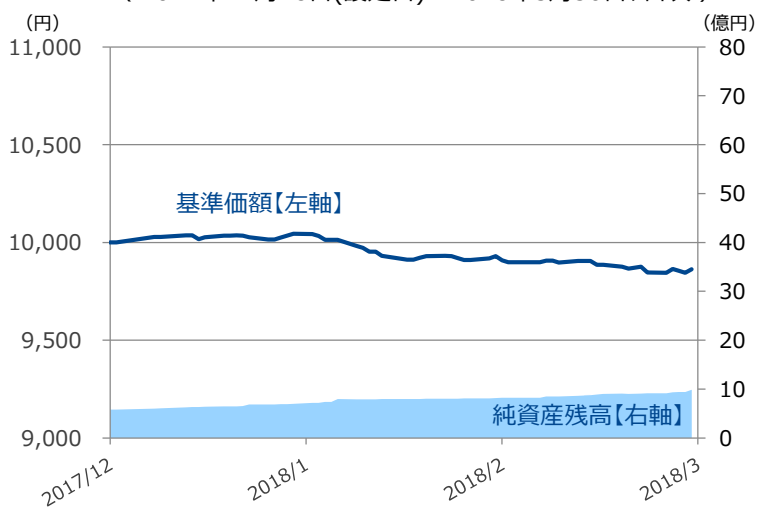
年初からの米ドル金利の上昇や、それを受けた株価の乱高下などの影響により、基準価額は軟調に推移しました。「為替ヘッジなし」は、急速に進んだ円高の影響も受け、3月下旬には昨年12月末比で-８％強の水準まで下落しました。

収益分配は、第1期決算では予定どおり見送りました。市場動向等を勘案のうえ、第2期から実施する予定です。

■ スカイオーシャン・世界債券戦略ファンド（為替ヘッジあり）

図表１ 基準価額と純資産残高の推移

（ 2017年12月28日(設定日)～2018年3月30日、日次 ）



図表２ 月末時点の基準価額

2017/12	2018/1	2018/2	2018/3
10,000円	10,014円	9,909円	9,863円

図表３ 期間別騰落率（ 2018年3月30日基準 ）

3か月	6か月	1年	設定来
-1.37%	–	–	-1.37%

※ 騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しており、実際の投資者利回りとは異なります。

図表４ 分配金の推移

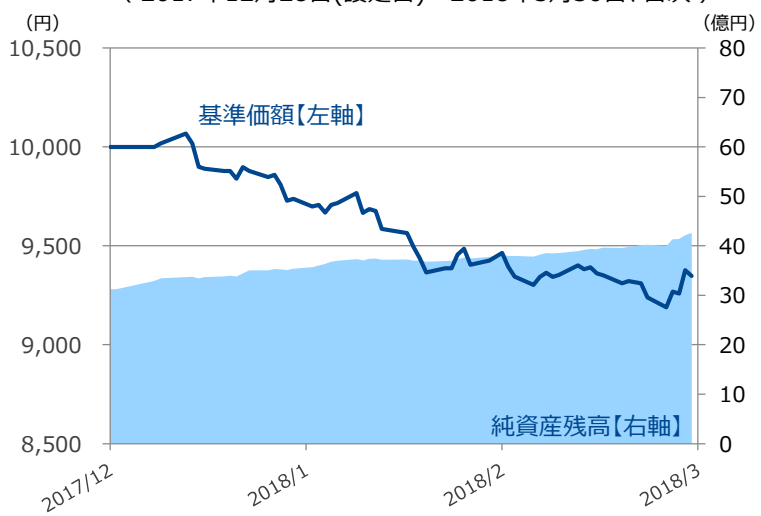
決算期	分配金※
第1期（2018/3）	0円
設定来 累計	0円

※ 1万口あたり、税引前

■スカイオーシャン・世界債券戦略ファンド（為替ヘッジなし）

図表５ 基準価額と純資産残高の推移

（ 2017年12月28日(設定日)～2018年3月30日、日次 ）



図表６ 月末時点の基準価額

2017/12	2018/1	2018/2	2018/3
10,000円	9,668円	9,464円	9,347円

図表７ 期間別騰落率（2018年3月30日基準）

3か月	6か月	1年	設定来
-6.53%	–	–	-6.53%

※ 騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しており、実際の投資者利回りとは異なります。

図表８ 分配金の推移

決算期	分配金※
第1期（2018/3）	0円
設定来 累計	0円

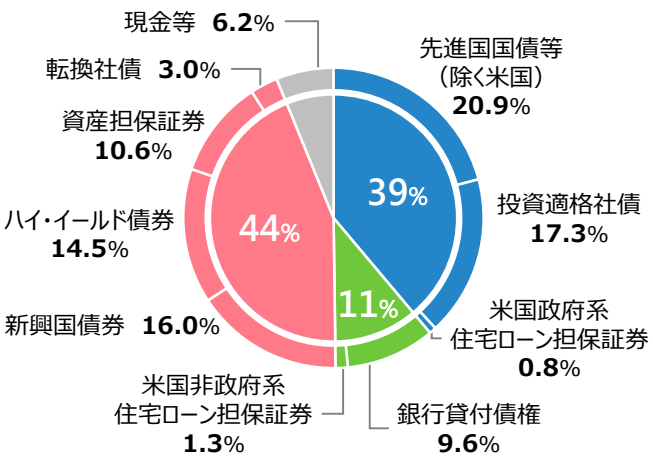
※ 1万口あたり、税引前

※ 上記は過去のデータであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
※ 基準価額は信託報酬控除後です。税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算。
※ 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

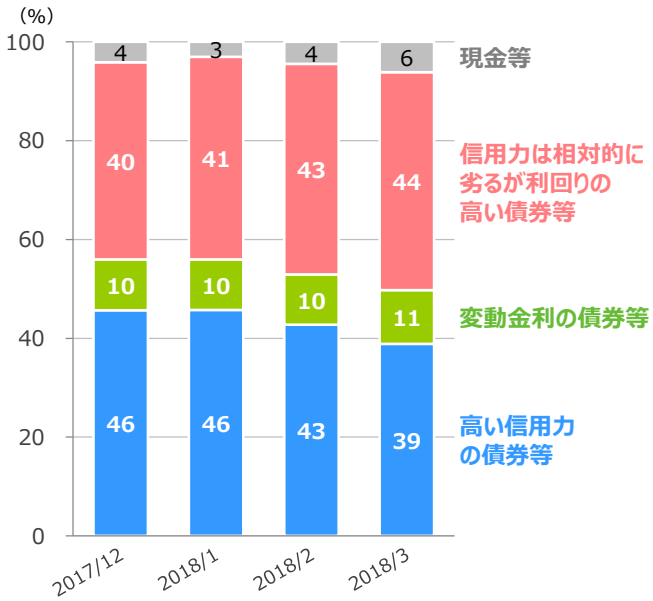
ポートフォリオの状況

米国のインフレ懸念の高まり等による米ドル金利の上昇に対して、投資適格社債を中心に金利上昇の影響を受けやすい高格付債券の組み入れ比率が低下し、銀行貸付債権など金利上昇に強い変動金利の債券や、米ドル建て以外の債券の組み入れ比率が高まりました【図表９～11、13】。また、デュレーションもやや短めの３年前後で推移しました【図表12】。

図表９ 資産構成比率（ 2018年3月30日基準 ）

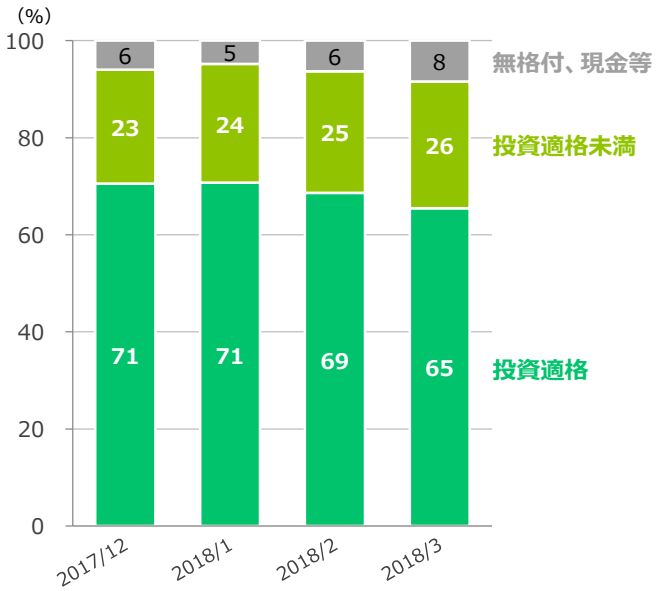


図表10 資産構成の推移（ 各月末基準 ）

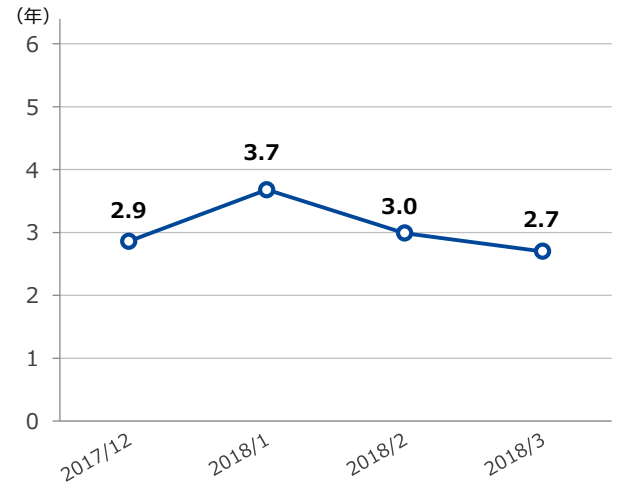


高い信用力（高格付）の債券等	・・・ 景気後退・低迷局面で魅力度が高まります
変動金利の債券等	・・・ 金利上昇局面で魅力度が高まります
信用力は相対的に劣るが利回りの高い債券等	・・・ 景気回復・安定局面で魅力度が高まります

図表11 格付構成の推移（ 各月末基準 ）



図表12 デュレーションの推移（ 各月末基準 ）

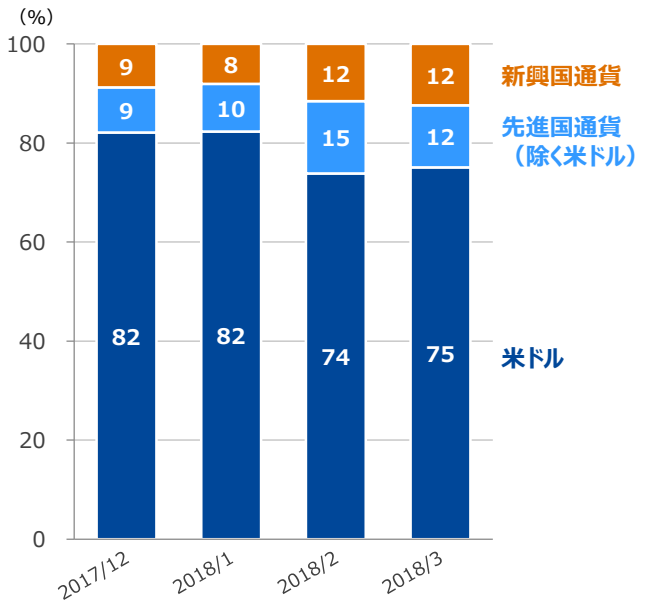


デュレーション	金利が１％変動した場合の債券価格の変動の度合いを示す指標です。 数値が大きいほど、金利変動に対する債券価格の変動率が大きいことを表します。

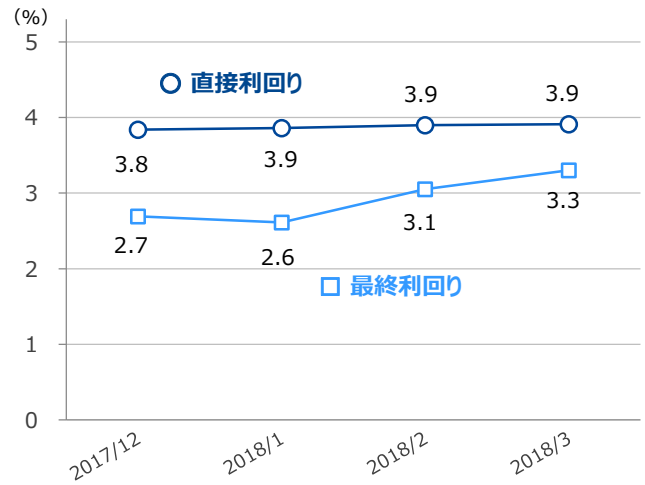
※ 上記は過去のデータであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
※ それぞれの構成比率は、純資産総額に対する比率です。構成比率は端数処理の関係で合計値が100%とならない場合があります。
※ 債券等の種類に関する説明は、経済環境と各種債券等の一般的な関係について理解を深めていただくためのイメージであり、すべての経済環境や債券等にあてはまることを保証するものではありません。
※ マニュライフ・アセット・マネジメント（US）LLCのデータをもとに、スカイオーシャン・アセットマネジメント作成。

スカイオーシャン・世界債券戦略ファンド（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）

図表13 通貨構成の推移（ 2018年3月30日基準 ）



図表14 利回りの推移（ 各月末基準 ）



直接利回り	投資元本に対する毎年の利息収入を表す利回りです。
最終利回り	債券を途中売却せず償還まで保有した場合の利回りです。

図表15 国別構成の推移（ 各月末基準、上位５か国 ）

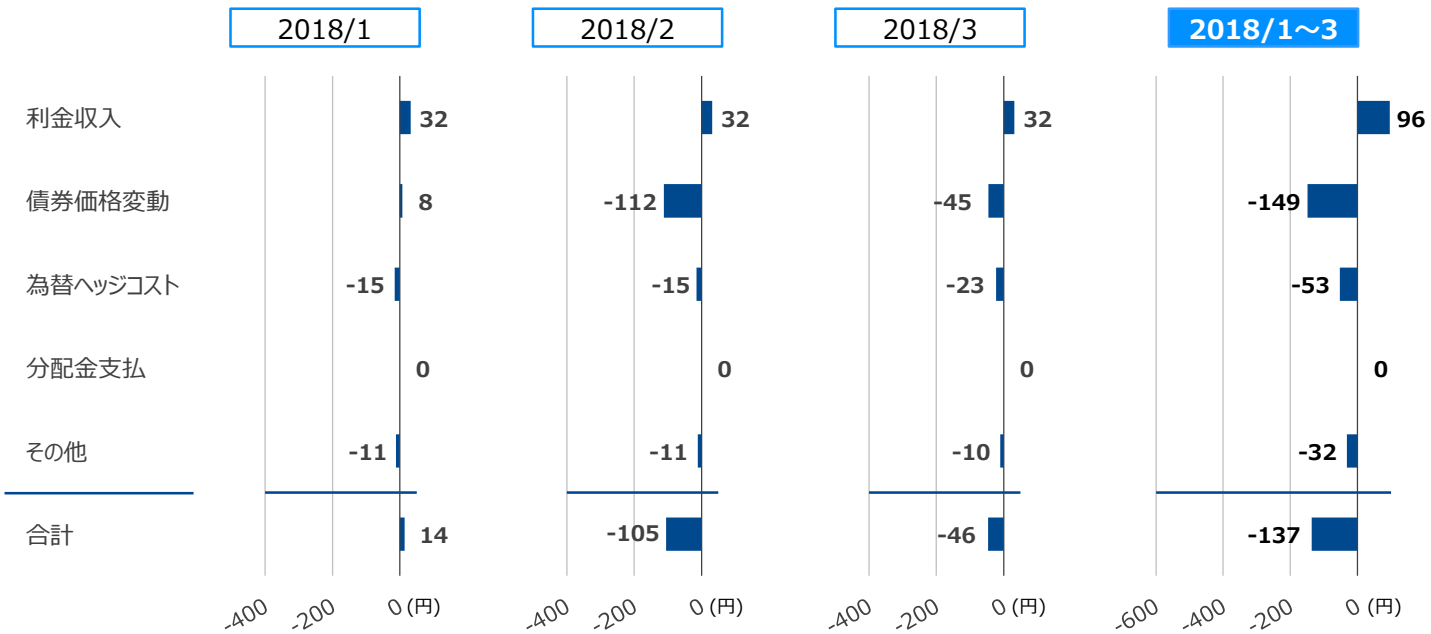
	2017/12		2018/1		2018/2		2018/3	
1	米国	59.4%	米国	55.7%	米国	54.2%	米国	52.8%
2	カナダ	7.3%	カナダ	6.5%	メキシコ	5.6%	メキシコ	5.8%
3	メキシコ	5.4%	メキシコ	5.5%	カナダ	5.4%	カナダ	4.4%
4	オーストラリア	4.3%	国際機関	3.5%	国際機関	3.6%	国際機関	3.6%
5	国際機関	4.1%	インドネシア	3.1%	インドネシア	3.4%	インドネシア	3.5%
	その他	19.6%	その他	25.7%	その他	27.8%	その他	29.9%

※ 上記は過去のデータであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
※ それぞれの構成比率は、純資産総額に対する比率です。構成比率は端数処理の関係で合計値が100%とならない場合があります。
※ マニュライフ・アセット・マネジメント（US）LLCのデータをもとに、スカイオーシャン・アセットマネジメント作成。

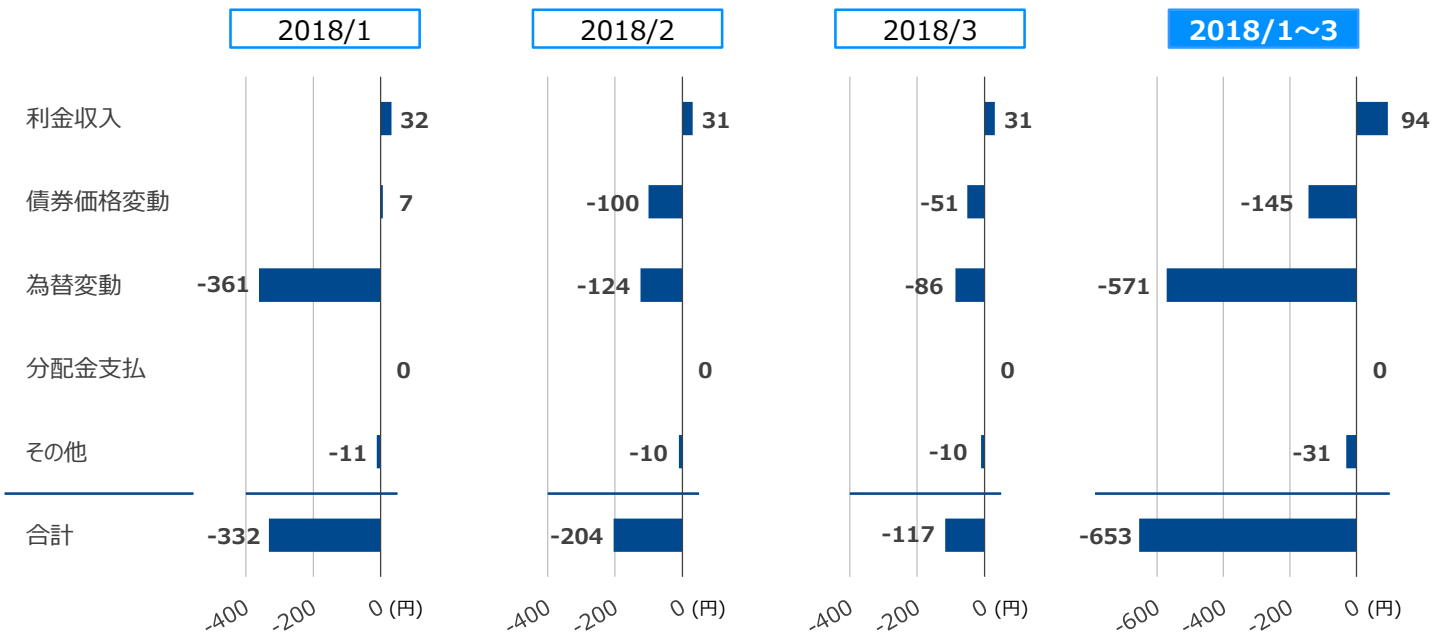
基準価額の変動要因

図表16 基準価額に対する各変動要因の月別寄与額（ 2018年１～３月、月次 ）

■ 為替ヘッジあり



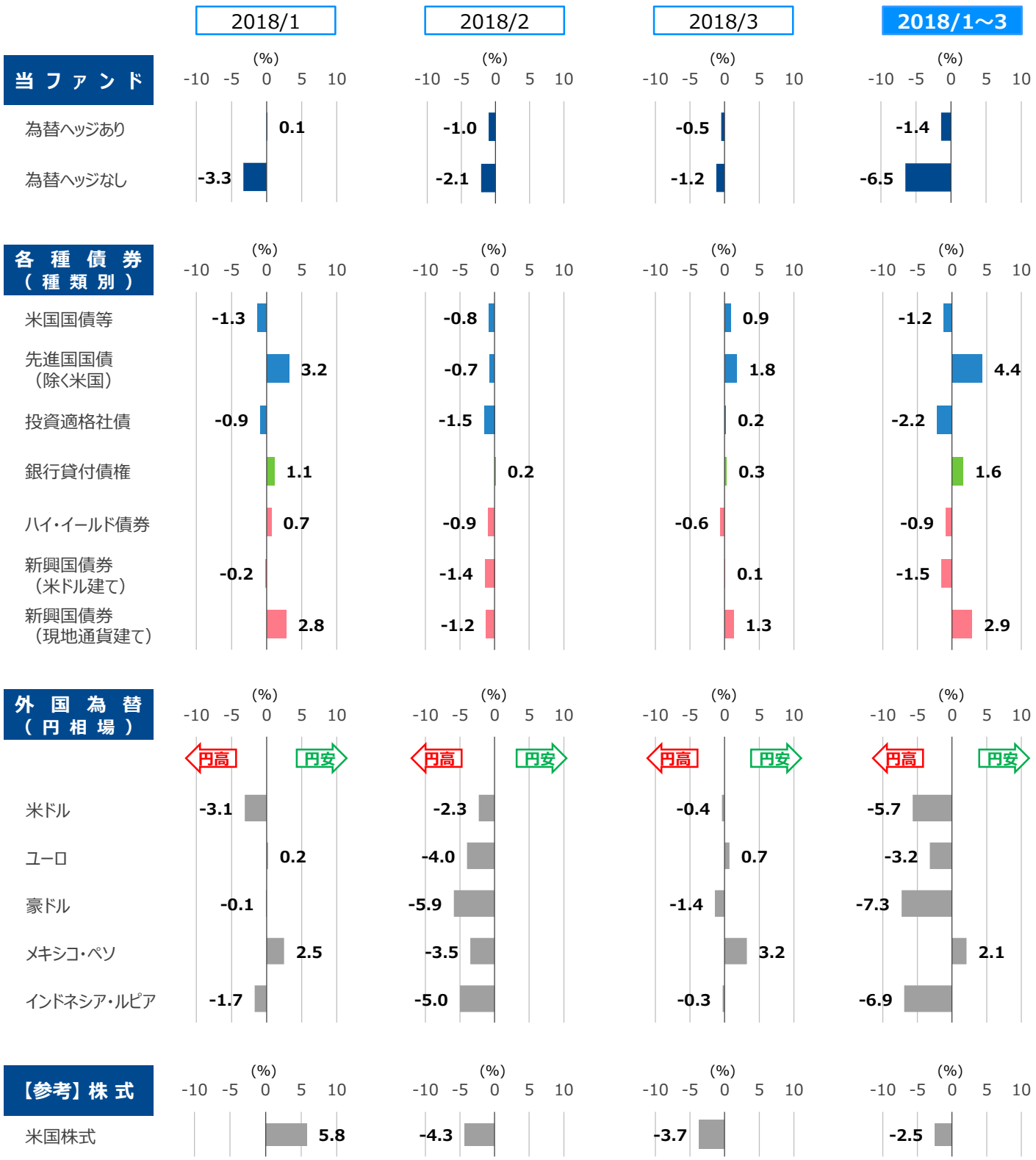
■ 為替ヘッジなし



※ 上記は過去のデータであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
※ 基準価額は信託報酬控除後です。
※ 寄与額は概算値であり、組入債券の値動き等が基準価額に与えた影響等をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、各数値は実際の運用における数値とは異なります。あくまで傾向を知るための目安としてご覧ください。
※ 利金収入は一定の前提のもとに直接利回りを用いて、キャピタルゲイン等は基準価額の月間変動額から各要因を差し引いて算出しています。為替ヘッジコストは対米ドルの直物為替レートと為替予約レートとの価格差等から簡便的に算出しています。「その他」には信託報酬が含まれます。
※ 四捨五入により各月の寄与額の合計値と当期合計寄与額が一致しない場合があります。

主な債券・為替市場の動向

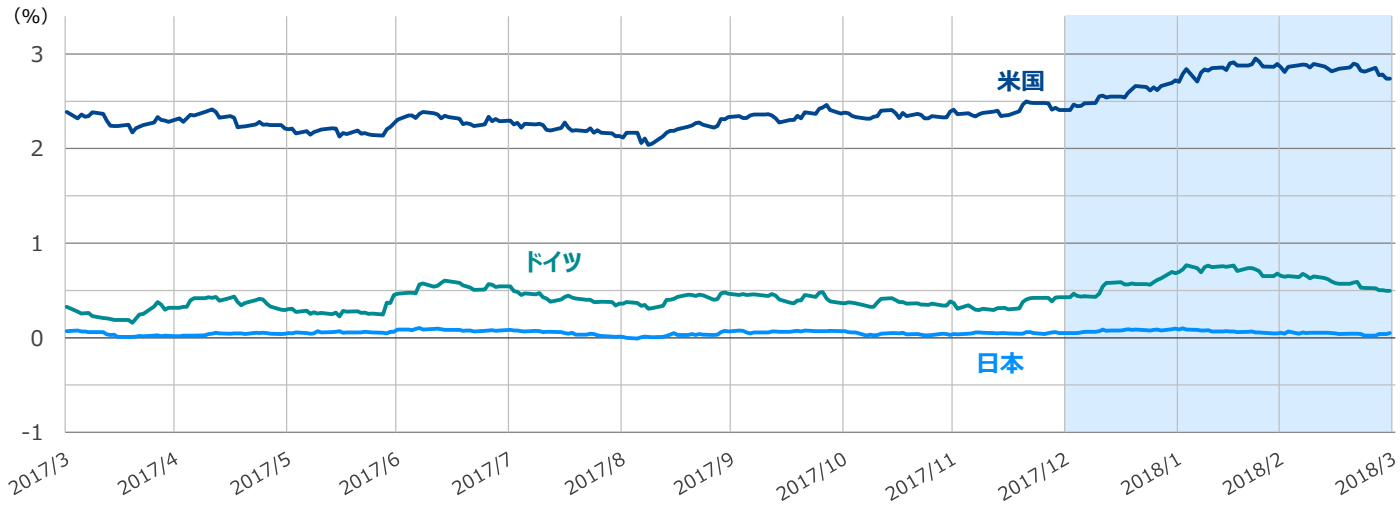
図表17 **当ファンドおよび主要債券種別の騰落率**（ 2018年１～３月、月次 ）



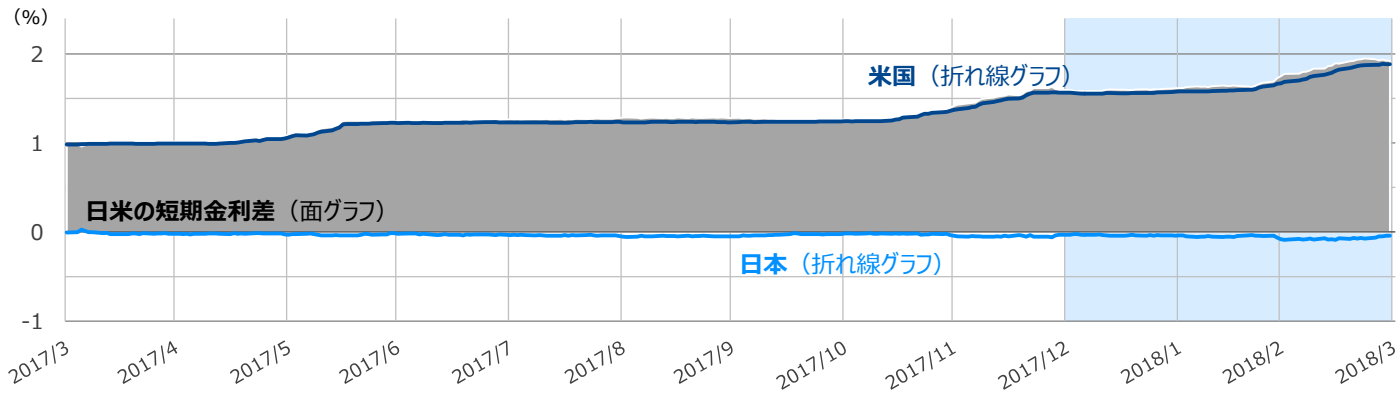
※ 上記は過去のデータであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
※ 当ファンドの騰落率は、分配金再投資基準価額（信託報酬控除後、税引前分配金再投資）より算出しており、実際の投資者利回りとは異なります。
※ 各種債券の騰落率は、それぞれの性質を表す代表的な指数の動きであり、当ファンドの保有債券の動きを表しているものではありません。
使用した指数等については、7ページをご参照ください。
※ ブルームバーグのデータをもとにスカイオーシャン・アセットマネジメント作成。

金利・為替相場の動向

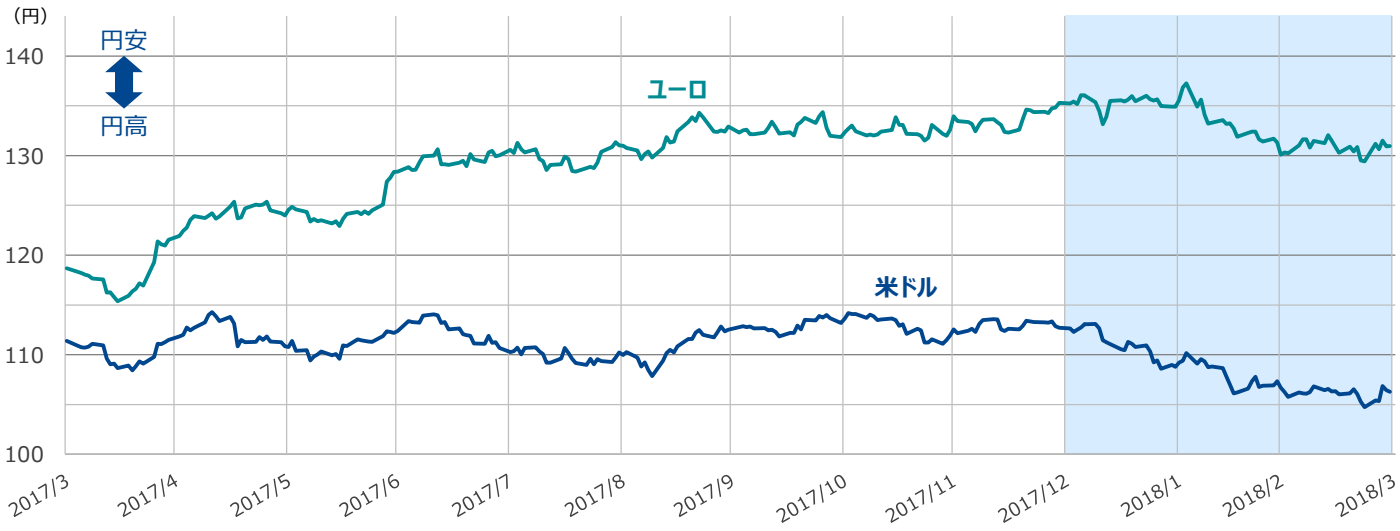
図表18 米国・ドイツ・日本の長期金利の推移（ 2017年3月末～2018年3月末、日次 ）



図表19 米国・日本の短期金利の推移（ 2017年3月末～2018年3月末、日次 ）



図表20 円相場の推移（ 2017年3月末～2018年3月末、日次 ）



※ 上記は過去のデータであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
※ 使用した指数等については、7ページをご参照ください。
※ ブルームバーグのデータをもとにスカイオーシャン・アセットマネジメント作成。

当資料で使用した指数等について

図表番号	使用した指数等
17	米国国債等： FTSE米国国債インデックス、先進国国債（除く米国）：FTSE世界国債インデックス（除く米国）、投資適格社債：BofAメリルリンチ・USコーポレート・インデックス、銀行貸付債権：クレディ・スイス・レバレッジド・ローン・インデックス、ハイ・イールド債券：BofAメリルリンチ・US・ハイ・イールド・マスターⅡ、新興国債券（米ドル建て）：ブルームバーグ・バークレイズ・エマージング・マーケッツ・USD・アグリゲート・ボンド・インデックス、新興国債券（現地通貨建て）：ブルームバーグ・バークレイズ・エマージング・マーケッツ・ローカル・カレンシー・ガバメント・インデックス、米国株式：ダウ・ジョーンズ工業株30種平均
18	各国の10年国債の利回り
19	米ドルおよび日本円の１か月LIBOR

ファンドの投資リスク

ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。

金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、カントリーリスク、流動性リスク

※ 基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

▼ その他の留意点

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
  投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

ご購入の際は、必ず投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

お申込みメモ

申込	購入の申込期間	当初申込期間： 2017年12月1日から2017年12月27日まで 継続申込期間： 2017年12月28日から2019年3月5日まで ※ 上記期間満了前に有価証券届出書を提出することにより更新されます。
	申込締切時間	原則として、販売会社の営業日の午後3時までとします。
	購入・換金申込受付不可日	申込日当日が次のいずれかの場合は、購入・換金のお申込みを受け付けないものとします。 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ニューヨークの銀行休業日
購入時	購入単位	販売会社が定める単位とします。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。
	購入価額	当初申込期間 ： １口当たり１円とします。 継続申込期間 ： 購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。 （基準価額は１万口当たりで表示しています。）
換金時	換金単位	販売会社が定める単位とします。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。
	換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
	換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。

決算・分配	決算日	毎年３月、６月、９月、12月の各５日 （休業日の場合は翌営業日）
	収益分配	年４回、毎決算時に原則として収益分配をおこなう方針です。 なお、第１計算期間の決算時においては収益分配をおこないません。 収益分配金の受取方法により「分配金受取コース」と「分配金再投資コース」の２つの申込方法があります。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。
その他	信託期間	設定日（2017年12月28日）から2028年6月5日まで
	スイッチング	「為替ヘッジあり」「為替ヘッジなし」の２つのファンド間でスイッチングができます。 ただし販売会社によっては、スイッチングの取扱いをおこなわない場合があります。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。
	課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度（NISA）および未成年者少額投資非課税制度（ジュニアNISA）の適用対象です。

スカイオーシャン・世界債券戦略ファンド（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）

ファンドの費用

お客さまが直接的にご負担いただく費用		
購　入　時	購入時手数料	購入価額に販売会社が個別に定める手数料率を乗じて得た額とします。 **（上限2.7%（税抜2.5%））**
換　金　時	信託財産留保額	ありません。

お客さまが間接的にご負担いただく費用		
保有期間中	運用管理費用（信託報酬）	
	当該ファンド（a）	純資産総額に対して**年率0.7884%（税抜0.73%）**
	投資対象とする投資信託証券（b）	純資産総額に対して年率0.47% ※ 投資対象とする投資信託証券のうち信託報酬が最大のものを表示しています。 ※ 上記のほか、組入有価証券の売買時にかかる費用、ファンドの設立・開示にかかる費用等（監査費用、弁護士報酬等）、管理報酬等は投資対象ファンドが負担します。
	実質的な負担（a＋b）	純資産総額に対して**年率1.2584%程度（税込）** ※ この値は目安であり、投資対象ファンドの実際の組入れ状況により変動します。
	その他の費用・手数料	
	監査費用、有価証券の売買・保管、信託事務にかかる諸費用等をその都度（監査費用は日々）、ファンドが負担します。 これらの費用は、運用状況等により変動するなどの理由により、事前に料率、上限額等を示すことができません。	

委託会社およびファンドの関係法人

- 委託会社　**スカイオーシャン・アセットマネジメント株式会社**　［ファンドの運用の指図］
  金融商品取引業者：　関東財務局長（金商）第2831号
  加入協会：　一般社団法人投資信託協会
  ホームページ：　http://www.soam.co.jp/
- 受託会社　**三井住友信託銀行株式会社**　［ファンドの財産の保管および管理］
- 販売会社　当ファンドの販売会社については【販売会社一覧】をご覧ください。
  ［募集・販売の取扱い、目論見書・運用報告書の交付等］

販売会社一覧

商号等		加入協会
株式会社東京都民銀行	登録金融機関：関東財務局長（登金）第37号	日本証券業協会　・　一般社団法人金融先物取引業協会
株式会社八千代銀行	登録金融機関：関東財務局長（登金）第53号	日本証券業協会
株式会社横浜銀行	登録金融機関：関東財務局長（登金）第36号	日本証券業協会　・　一般社団法人金融先物取引業協会

※　株式会社東京都民銀行、株式会社八千代銀行および株式会社新銀行東京は、2018年５月１日に合併し、株式会社きらぼし銀行に商号変更する予定です。

当資料の取扱いに関する留意事項

- ◆ 当資料はスカイオーシャン・アセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法にもとづく開示書類ではありません。
- ◆ ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- ◆ 投資信託は値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクをともないます。）に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。
- ◆ 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外で購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- ◆ 当資料は信頼できると判断した各種情報等にもとづき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- ◆ 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータにもとづき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により運用方針等が変更される場合があります。
- ◆ 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。